

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

秋号

2022
Autumn



埋

まいぞうぶんかざい

蔵文化財センターに行ってみよう！

富士宮市には200以上の遺跡があり、そこから出土した遺物が見られる場所＝「埋蔵文化財センター」があることを実は多くの方が知らないのでは？リニューアルした埋文だよりにて、知る人ぞ知る、本施設をご紹介します。

1 埋文センターって どんな施設？

富士宮市埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査・整理・保管を目的として平成26年に開館しました。ここでは、発掘調査で出土した遺物の整理作業を行なっています。遺物は収蔵庫に保管されるほか、展示や市民向け講座などで活用されます。また、国指定史跡の「大鹿窪遺跡」や、史跡「富士山」をはじめとする富士宮市内の遺跡・史跡の紹介もしています。



3 どんな仕事を しているの？

富士宮市内の遺跡の発掘調査を行ない、その成果をまとめた『発掘調査報告書』を刊行したり、出土した遺物を洗って復元したり、正確に計測して図化するなどして、記録・保管します。その他にも学校などに学芸員が外向いて埋蔵文化財についてお話する出前講座も行っています。施設で行なわれている作業については、次号以降で詳しく紹介します。



大鹿窪遺跡の発掘調査風景



石膏を使って土器を復元



文様や形状などを正確に図化

2 施設で何が 見られるの？

展示室では、富士宮市内のさまざまな遺跡から出土した土器や石器などの遺物を直接目に見ることができます。また、ホールには郷土資料館所蔵の民具も数多く並んでいます。資料に触れることはできませんが、写真撮影は可能。自由研究の対象にする小学生も多くいます。学芸員への質問も、大歓迎です。



わからないことは
何でも聞いてくださいね



※施設には、学芸員もいます。



誰かに話したくなる！

考古学トリビアの壺

～海を渡った石材～

富士宮市内の「大鹿窪遺跡」から出土した石器（写真）。その素材である黒曜石は、富士宮市から約150kmほど離れた神津島という島から、海を渡って持ち込まれています。



2022 秋号のプレゼントクイズ！

この土器の名前は？

埋文センターに来て、この土器を展示物の中から見つけてください。スタッフに展示場所と正式名称を伝えたら、埋文グッズをゲット！



バックナンバーのご案内

リニューアル前の『埋文ふじのみや』Vol.1～Vol.17は、富士宮市のホームページでご覧になれます。
合わせて、最新号も公開しています。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



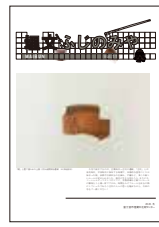
Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



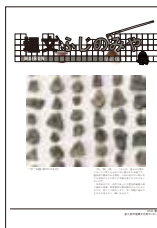
Vol.13



Vol.14



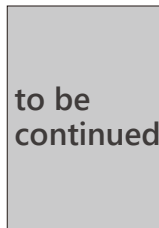
Vol.15



Vol.16



Vol.17



to be continued

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

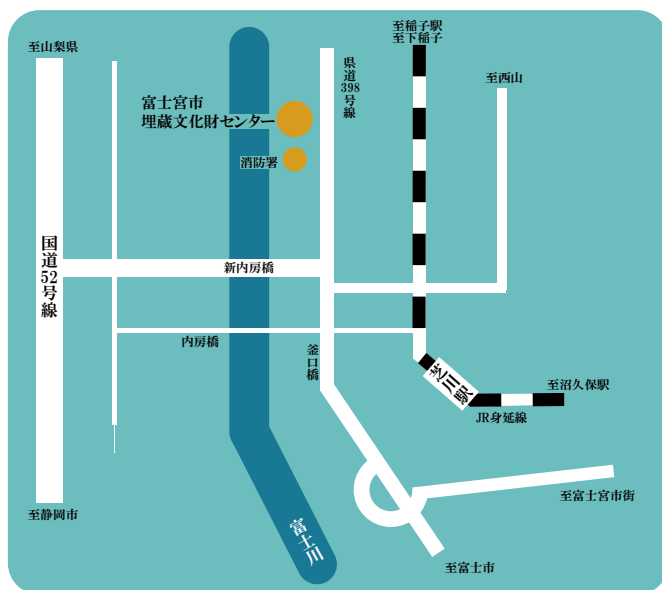
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

令和4年10月

もぐらのはなし 秋号（通算 vol.18）

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター